

民児協だより



—広げよう 地域に根ざした 思いやり—



まなごし

寒川町民児協では、さまざまな地域の「声」に耳を傾けています。

一人暮らしの高齢者宅への訪問や、子ども見守りや地域のサロン活動を行っているほか、定期的に行う子育てひろばでは主任児童委員がおやつ作りやバルーンアート等を行い、赤ちゃんを通じた世代間交流を行っています。各部会の活動も盛んで、児童部会に

よる学校・児童訪問や編集部会による外部向け機関誌「ほっこり通信」の発行等を行っています。

また町内にとどまらず、近隣市町の民児協との交流や災害被災地への視察研修等も行っています。

新体制が始まった寒川町民児協。自治会等と連携して地域に寄り添い、活動を続けていきます。

(寒川町民生委員児童委員協議会)



◆特集 一期目民生委員児童委員座談会

「三年間の自分を振り返って ～あいさつの大切さ、委員活動を楽しんで～」

- 研修報告他
- 活動研究レポート(山北町民児協)
- インフォメーション・編集雑感

特集 一期目民生委員 児童委員座談会

三年間の自分を振り返って

〜あいさつの大切さ、委員活動を楽しんで〜

12月1日に二斉改選があり、本会ではおよそ1500名の新しい仲間を迎えました。そこで、前回(平成25年)の二斉改選で民生委員児童委員を委嘱された四名の皆さまと三期目(会長二期目)の安藤さんをアドバイザーとして参加いただき、当時の想い出、やりがいを感じたこと等、忌憚ないお話を伺いました(役職は座談会当日の役職名です)。

委員活動を知らなくても、これから学び得ようとする気持ちが大切

司会(事務局) みなさんは、民生委員児童委員(以下「委員」)委嘱当時は、委員活動を知っていましたが。



座談会にご協力いただいた方々です。左から、安藤さん、並木さん、熊谷さん、近藤さん、石坂さん。ありがとうございました。

熊谷さん 知らずに引き受けました。引き受けたからには、「やるしかない!」と覚悟を決めました。

一年目は、先輩委員の背中を見て活動していました。

石坂さん 委嘱当時、主任児童委員として「はじめまして」が多い中、私にできることってなんだろうとたくさん悩みました。そんな中「そのままの石坂さんでいいのよ」の声掛けで、**分らないことが今の私の強みなのだと思え、いろんなことに挑戦してみよう**と考えが変わりました。

安藤さん 私は、機会があれば



熊谷 五郎さん
(藤沢市民児協/1期目)

委員活動はすぐにできるとは限りません。自分ができることから、一つ一つ行動していきたいです。



石坂 和香さん
(鎌倉市民児協・主任児童委員/1期目)

ボランティアスタッフとして子育てサロンに携わっていたときに、誘われたのがきっかけです。

ひ委員を引き受けたいと思っていたので、委員について学んだり、社会福祉分野に関する資格を取得したりしていました。委嘱当時は大変嬉しかったのを覚えています。

「委員」として関わることの難しさ

司会 委員として住民に求められて困ったことはありませんか。

近藤さん 私は、Aさんにはやって、Bさんにはやらない等があつてはいけないと思っています。ですが、どこまで委員として関

わったらいのか、サポートしていいのか悩むこともあります。

並木さん 一人暮らしの方から、入院の続ききをしてほしいと相談がありました。協力したいという気持ちはありつつも「本当にこれは委員として関わっていいのだろうか?」と自問自答し、地域包括支援センターにつなぎました。先輩委員からは、「個別対応ではなく、適切な場所につなげることが大切」と助言をもらい、委員はパイプ役であることをあらためて実感しました。

熊谷さん 他団体が主催の「あいさつ運動」をしていると、これって委員活動なのか?と疑問を感じます。けれど、両方やっているからこそ、子どもから「五郎さんおはよう!」とあいさつされ、顔見知りになれたと実感します。委員活動だけでは限界があり、さまざまな関係機関・団体とのつながり



安藤 憲和さん
(大磯町民児協・会長/3期目)

今後は、児童委員、主任児童委員として何が求められているか考えていきたいです。



並木 伸子さん
(海老名市民協/1期目)

委員なのだから、「何でも引き受けなければ」と考えずに、委員の役割を確認することが大切です。

も大切であることを知ります。
課題があれば提案することも大切
司会 大変だと思ったことなどありましたか？
並木さん 8月の残暑の中、敬老会の招待状をおよそ150人の方に手渡しで届けるのが大変でした。途中公園で一休みしながら乗り切りました。
広報委員 私の地域も同じように夏の時期に訪問がありました。しかし、行政に時期の変更を提案したところ、外出しやすいうえ5月に変わりました。行政からさまざまな依頼もありますが「ここが大変なので（課題があるので）、このように改善はできないか」等提案することも一つの方法ですね。
並木さん 一年目は暑い時期にそ

も大切であることを知ります。
課題があれば提案することも大切

正直面倒な気持ちもありました。ですが、「敬老会に参加するよ」「楽しい時間を過ごせたわ」という声が聴けると、報われます。さらに、訪問したからこそ、顔見知りになり、相談されるようにもなりました。一見、なぜ委員がやるのだろう？という事業でも、その目的や取り組み過程が、委員活動に結び付くことに気が付きました。
迷ったときこそ、原点に立ち返る
近藤さん 前任者は自治会のどんど焼きの団子作りに協力してました。私にも同じように協力の声がかかりましたが、料理に慣れていない私には難しいことを自治会に相談しました。結果、その手伝いはやらなくてもよいことになりました。もちろん、自治会との連携は欠かせないので、できることは協力します。しかし、委員の本来の役割を見つめつつ、断る勇気や改革する判断も大切ではないでしょうか。



近藤 史朗さん
(愛川町民協/1期)

高齢者のお宅へ訪問すると、体の不調を訴える方が多いので、好きなことをとおして体を動かす場を作っていただきたいです。

熊谷さん 今までの活動を継続・改善するにしても、やめるにしても、委員一人一人の想いがないと
何もできません。
安藤さん 現在、三期目です。9年間必ずしも順風満帆ではありませんでした。一期目は、無我夢中で委員活動に取り組み、二期目は余裕も生まれていました。担当地区が変わったこともあり、「前任の委員はここまでやってくれたのに」等の声を耳にしたこともあり、その期で退任すると一旦決めた時期もありました。その後は、任期終了まで「辞めて後悔しないか」と自問自答を繰り返した結果「自分なりにやろう」と吹っ切れました。今は、迷いは全くありません。初期は、四期目を迎えます。「初心忘るべからず」原点に返って頑張りたいです。
熊谷さん 訪問したときに「何しに来た！」と怒鳴られ、嫌な気持ちになることがあります。
安藤さん 確かに、訪問するだけで「世話にならない」と高齢者扱い

されたと考え嫌悪する人もいます。
熊谷さん けれど、子の結婚話や思い出話をされたりと、委員に会うのを楽しみにしている人もおり、どんな話でもしっかり聴くようにしています。10件訪問する予定が、1件になることもあります。
安藤さん そういうこともありま
すね。一日に何件訪問したかよりも「聴く」ことが、委員活動の原点であり、忘れてはならないことだと思っています。
3年間活動をしてきたから課題や、やりたいことが見えてくる
司会 今後、取り組んでみたいことはありますか。
並木さん 足が不自由な方や閉じこもりがちな方も気軽に集えるようにサロンを作れたらと考えています。今も1か所運営しています。もう一カ所できたらと考えています。もちろん、私一人ではできませんし、すぐには実現できませんが、少しずつできることからやっていたらと夢はあります。
石坂さん 今関わっている子育てサロンのボランティアにさまざまな方達が関わられたらと考えていま

す。もともと、私は転居してきたため、近所に知り合いもいない中での子育てでした。不安で寂しくて、孤独で…そんな中、「おはよう」「またきてね」とわが子にあったかい声をかけてくれたサロンの方との出会いで気持ちも軽くなりました。主任児童委員だからやらねばではなく、複数の眼で子どもを見守るためにも、親がもっと参加できるようなれば、地域の活性化につながるのではないかと。さまざまの方が参加し、取り組みが広がることで児童委員、主任児童委員の活動へのやりがいにつながるのではないのでしょうか。

司会 最後に、新任委員へメッセージをお願いします。

近藤さん 委員活動は必ず自分自身のためになります。そのためにも、知識と情報を委員同士で共有し合ってほしいです。

並木さん 地域の方と仲良くしてください。自然とあいさつし合える方が増え、幸せな気持ちになります。

熊谷さん 「ありがとう」の言葉が、じわーっと心にしみます。これを味わえることが嬉しさでもあり、委員の責任の重さを感じると

きでもあります。

石坂さん 先輩委員から「ホウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）」を徹底することを学びました。悩みを抱え込むという意味が含まれています。悩みを相談し、共有することでお互いを深く知ることになり、さらに仲良くなれます。私は、先輩委員や他関係者に相談することで、人脈が広がりました。主任児童委員を担っていたら、こんな知り合いは広がらなかったでしょう。

安藤さん 「人のために」と思うと大変です。「自分のため」と思うとよい結果が生まれます。

委員活動はやりがいがあります。「地域を知る」「仲間と会える」「研鑽する」ことで自分の成長につながります。

委員の役割を自覚し、委員活動の原点である「見守り・声掛け」を大切にしてほしいです。

また、分からなかったり、不安を感じたりしたら会長や先輩委員に相談してほしいです。

司会 本日は、ありがとうございます。新任委員のみなさんには、「私も委員のことを知らずに引き受け



浅野会長と広報委員3名が同席しました。

終始委員活動に対する想いを率直に語っていただきました。

たけれど、一つずつ学ぼう」「不安なことがあったら、会長や仲間

に相談してみよう」と今後の活動の参考にしていただければと思います。

また、2期目以降の委員の皆さんには、「初めての訪問は緊張して、先輩委員に相談したな」「専門用語が分からなくて、本を読んだり研修を受講したり学んだな」等ご自身の一期目当時を思い出していただき、今期の目標を定めるきっかけになっていただければ嬉しいです。新任委員とともに、100周年続く委員活動の大切さを考えていきたいです。

取材を終えて

- ◎委員活動で一番大切なことは、「名前を覚えること」と「笑顔」です。ほほ笑みながら、「●●さん、こんにちは」と声をかけるだけで、早く打ち解けられるものです。この座談会をとおして、その大切さをあらためて感じました。
 - ◎委員の原点の話題が出てきました。なぜ、委員制度ができたのが等歴史や源流をみんなであらためて考えることは、知識が豊かになり、委員の仕事への意欲につながると思いました。
 - ◎「やりがい」はすぐには見当たりませんが、継続していくことで温かい気持ちになっていくのが民生委員児童委員だと思います。今回お話をくださった委員さんは、前向きな方々で楽しくお話を聴かせていただきました。二期目、三期目が楽しみです。
 - ◎付け加えて、まずは、委員自身の健康管理があつての活動であることが第一条件ですので、健康に留意して、今期も無理のない活動ができればと思いました。
- （広報委員）

全国民生委員児童委員大会 （香川県）参加を通して

～委員間・事務局の支え合い～
（10月20日～21日開催）

中井町民生委員児童委員協議会

会長 芦田 博行

当日二日間は、私を含め本会理事11名が参加しました。我々の行動予定は、本会事務局により現地に行かずに良くぞ纏められたと思われる内容になっておりました。

一日目のプログラムの一つに少林寺拳法師家の少林寺拳法グループ総裁であられる宋 由貴（そう ゆうき）氏による特別講義がありました。

「ありがとう この生命」

ありがとう あなたとの出会い

がテーマで、個人主義が横行闊歩する現在、自分の命と人との出会いを大切に生活することの重要性を改めて感じることができました。

二日目は、各自活動交流会会場12会場の内、8会場に分散して活動交流会、シンポジウムに参加の中、私は、「認知症の人や家族を地域で支えるために」がテーマの活動交流会に参加しました。認知症は本人、家族が気付く

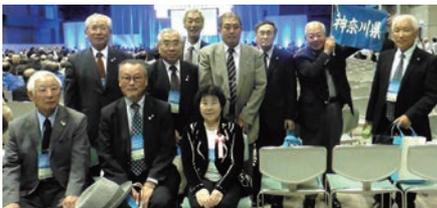
に時間を要し、解つてからも他人に話さない家庭も多く症状が悪化する事例が多いようです。認知症が病気であることを本人も家族も地域の人たちも理解し、早期発見早期治療のためにも認知症のPRが必要と同時に、支え合う体制づくりを地域・民児協・社協等の協力で発足が望まれます。

私は9月16日の県民児協主催の市町村会長研修を都合で欠席しましたが、後日、研修内容を事務局より送付して戴き、過去3期分（平成19年～今年）の活動強化方策、調査、報告事項を見て課題の連続性・問題点を知り在職民生委員児童委員の一助になればと資料を纏めることが出来ました。

年間限られた研修等に参加できる人、県民児協の情報を得られる人は知識の共有が出来るよう情報の発信が必要です。

民生委員児童委員は地域住民を支え合う前に民児協内で支え合う、事務局と民生委員児童委員とで支え合う事の必要性を学びました。

※役職は平成28年11月末日のものです。



民生委員制度創設 100周年に向けて

民生委員制度は、来年（平成29年）に制度創設100周年を迎えます（児童委員制度は70周年を迎えることとなります）。

全国民生委員児童委員連合会（以下「全民児連」）では、①民生委員制度が創設100周年を迎えることを伝え、②民生委員児童委員がどのような活動をしているか住民や関係機関・団体に対し、紹介するために次のような広報媒体を作成しました。

PRポスターで100年の歴史を伝える

広く地域の方々へ「民生委員児童委員の存在」「民生委員制度に100年の歴史があること」を伝える目的で全民児連は、「民生委員制度100周年PRポスター」を作成しました。



日本の歴史の変遷とともにデザインされたPRポスター



ピンバッジを渡すときは、委員の役割や活動内容を説明すると、より関心をもっていただく機会になるかもしれません。

各市町村民児協へは、こちらのポスターを順次送付しますので、それぞれの地域でのPR活動にご活用ください。

応援しています！民生委員児童委員 関係者向けピンバッジ

民生委員児童委員活動に関係する人たちに向け、民生委員児童委員の徽章などに用いられている「幸せのめばえを示す四つ葉のクローバー」「愛情と奉仕を表している平和のシンボルの鳩」をモチーフに関係者向け100周年応援マークがデザインされました。

関係機関・団体の方々等、民生委員児童委員活動と関わりのある方だけでなく、退任された委員の方々にも右図のピンバッジの着用をお願いしてみたいかがでしょうか。100周年を迎える委員活動とともに盛り上げ、ますます発展していけるようにしたいものです。

市町村民児協発
活動研究レポート
No.37

「民生委員児童委員としての姿勢」を仲間伝える大切さ
～山北町民生委員児童委員協議会～

平成25年の二斉改選で、2/3の民生委員児童委員(以下「委員」)が交替した山北町民児協(以下「民児協」)は、この3年間で委員活動に取り組む上での立ち位置等を委員みなで確認することを重視しました。どのような取り組みなのかその内容と理由背景について、民児協前会長の武政鷹志さんにお話をうかがいました。

委員として行動するために
学び合う

前回(平成25年)の一斉改選では、2/3の新たな仲間を迎えました。今までは委員の引き継ぎは口頭での引き継ぎが中心で、組織的に委員教育をしてきていないことに気が付いていた武政会長は、この3年間は、民児協の運営よりも、委員の教育に力を入れ、「一人一人が委員として安心して行動できること」を目指しました。

「委員一人一人は、真面目に活動に取り組みとう一生懸命です。しかし、良かれと思い取り組んだことが、マイナス評価され、後ろ指を指されてしまう場合もあります。そういうことが少しでも減るように、活動する前に、その姿勢を身に着けることが重要だろうと判断しました」と武政会長は当時を振り返ります。

委員の立ち位置と留意点について複数回に分けて学習

そこで、一つ目は、「委員の立ち位置」の確認に努めました。「委員は、得られた情報をもとに、必要な支援団体や個人に対象者の支援を相談して(支援を指示はできない)支援の方策を把握しその方策に沿って活動すること」とはつきり伝えました。さらに、「委員はコーディネーターではありません」委員は支援を必要とする住民と専門機関・団体等をつなぐパイプ役であることを説明し、委員がどのような立ち位置で活動することを期待されているのか確認しました。さらに、留意点についても具体的に説明しました。たとえば、

- ・訪問するときには、身分を証明するものを身に着ける。
- ・住民が玄関に入ってよいと承諾を得てから入るようにする。

「なぜ、必要なのか」理由を伝える

二つ目は、個人情報保護と守秘義務の重要性について説明しました。委員には守秘義務があり、委員の家族にも伝えてはならない等、委員がやってはいけないことを列挙しつつ、「委員は情報漏えいしないことで信頼を得ている。漏えいしたが故に情報取得しやす立場が失われてはいけない」となぜ、守秘義務を徹底しなければならぬのかという理由も伝え、注意を促しています。理由を知ること、委員の意識も高まります。

小さく区切って相談しやすい場づくりを

特に特徴的と感じた取組みが「地区部会」というものです。この地区部会は、メンバーが5〜10人になるよう地勢状で区分した専門部会の一つです。かつては、高齢者部会や障害者部会も設けていたようですが、部会メンバーだけにしかその情報が伝達されず、他分野の学習をする機会が取れませんでした。一方、地区部会では各部会内で起きた事案は、分野を問わずにその部会メンバーで悩んだり、または、先輩委員の助言を受け解決に導いたりします。それにより、委員は分野を問わずさまざま

退任委員はこの書類をもとに、新任委員に説明します。

NO.1
山北町民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員活動留意事項

1 活動に際して
①身分を証明するものを必ず身に帯けて訪問。
②民生委員バッジ、身分証明証またはその写真が、
③玄関まで話しかける。相手が玄関内に入ってまいとの意思表示をした場合は中に入らない。
④お話を終るが、相手が玄関内へは入らない。但し、相手の健康状態や天候等にて、やむを得ない場合は、相手の許可を得ずとも玄関内まで話をしてもよい。
⑤相手が一人住まいの場合、近隣を徘徊するような行動は慎むこと。必要であれば自治会や近隣の委員に相談し、二人以上で訪問すること。
⑥相手がお礼のつもりで食品を譲渡したい旨の表示をした場合は、民生委員の身分と実行勘い。朝禮に高意表示ください。
⑦但し、近隣の住みかや相手が健康状態ややむを得ないものとする。
⑧訪問に際して、帰る日時を事前に相談することがベストであるが、突如うかがう場合は、その旨を相手に丁寧に意思表示をし、了承を得る。
⑨訪問に際して、高意な服装や持ち物は避けること。

2 民生委員としての役割
①民生委員は、民生委員としての役割を担うこと。
②民生委員としての役割を担うこと。
③民生委員としての役割を担うこと。

3 民生委員としての役割
①民生委員としての役割を担うこと。
②民生委員としての役割を担うこと。
③民生委員としての役割を担うこと。

取材をとおして



- ◎単位民児協を複数に分けることで、「地区部会」のような相談し合える関係をつくることができます。これは、どの民児協にも取り入れやすい取組みだと思いました。
- ◎定例会は、会長からの報告にとどまってしまうがちです。しかし、山北町民児協では、報告だけではなく、委員が何でも話しやすいように楽しい雰囲気になるよう心がけました。このことで、委員はちょっとした不安が軽減できさらに、悩みを共有することで委員同士の信頼関係も深まったりするのかもしれない。これが、定例会欠席者が3年間でのべ10人という数に表れているのではないでしょう。

(広報委員)

来年で民生委員制度は100周年を迎えます。「地域の身近な相談役」である私達の活動がこれからも継続するために、**新任委員は「今まで築き上げた委員の原点である姿勢を学ぶこと」**が、**継続された委員にとっては、「新任委員も活動しやすいように」という視点を持つこと**が求められるのかもしれない。

まな社会福祉に関する情報や事例を学ぶことにつながります。また、担当地区近隣の身近な者同士の集まりとなるので、新任委員はちょっとした悩みごとでも先輩委員に相談しやすくなります。先輩委員と一緒に訪問したり、自分の選択した方法以外の対処法について学ぶ機会にもなり、考え方も広がります。

今まで口頭伝承してきたものを文章化し、全委員が活用しやすい資料を作成するのは一朝一夕ではできません。「私の代で委員教育に対する書類が完成したとは思っていません。次の世代が、これらの書類をさらに練り上げて、改良してくれば嬉しいです」と武政会長は次の世代への期待を語ります。



武政会長(左側)の「次の世代へ引き継ぐ」熱い気持ちが伝わる取材でした。

活動のヒント・ポイント



3年に1度一斉改選を迎える民生委員児童委員の活動ですが、その度各市町村で聞かれるのは、「なり手」の確保の困難さや担当される方の任期が短くなっていること、つまり長く活動を続ける方が少なくなり、新しく活動を始められる方が増加している、ということでしょう。少し前の数字ですが、平成24年に全国民生委員児童委員連合会が行った「法定単位民生委員児童委員協議会調査」においては、区域担当民生委員児童委員の割合で一期(3年)以下の委員が38.7%と、約4割を占めるという結果になっています。

こうした状況においては、民生委員児童委員活動の継続性の確保や資質向上と言ったことが大変重要であり、個々の委員のモチベーションの維持と活動しやすい環境の構築(教育基盤の整備)

聖徳大学
准教授 豊田 宗裕さん



ということが、今後ますます大切になってくると言えるでしょう。

今回紹介されている「山北町民生委員児童委員協議会」の取り組みは、まさにこうした個々の委員のモチベーションを高め、活動しやすい環境を作っていくための「教育基盤の整備」に重点を置いた取り組みだと感じます。業務の引き継ぎについては口頭ではなく、きちんと文書において引き継ぎがされていること、また委員としての地域での位置づけを明確にされ、それに沿って活動の手順が組み立てられていること、その一方で「地区部会」という、いわゆるチームアプローチができる組織を結成し、情報を共有化していることなど、まさに今後の委員活動を効果的に進めるための重要な取り組みであると拝見いたしました。

インフォメーション

**県民児協だよりへの
情報提供を
お待ちしております！**

『県民児協だより』は「見やすさ、読みやすさ、わかりやすさ」を合い言葉に122号から全面刷新を図りました。

これからも、身近に分かりやすい紙面で各市町村民児協からの情報を発信していきたいと考えています。

そこで、「私たち民児協では、こんな事業に取り組んでいます！」「特集を読んで他民児協と情報交換をした」「こんな特集が読みたい」「●●の情報をのせてほしい」等、みなさんの近況報告、取材の情報、「●●号の特集が参考になった」等の紙面の感想もぜひ、お寄せください。

また、『県民児協だより』は委員の仲間が広報委員と通信員となり紙面の企画や編集、取材、執筆をしています。広報委員会、通信員連絡会等へのご意見・要望も併せてお待ちしております。



民児協だけではなく、ボランティア団体等関係機関・団体への取り組みも取材します。

平成28年3月15日 県民児協だより 第125号

愛知県知多郡阿久比町民児協から綾瀬市民児協への視察研修

愛知県知多郡阿久比町の真ん中に位置する知多郡阿久比町から、竹内会長以下33名の民生委員児童委員の方々が綾瀬市民児協へ視察研修に来訪されました。

全国にあまたある民児協の中から、本市を視察に選ばれた理由は、全市民児協の「ひろば」(平成23年6月発行)に掲載された本市民児協の取組事例をみて、興味を持たれたとのことでした。

視察研修は、はじめに阿久比町民児協の竹内会長から、来訪の意図についてお話しがあり、本市民児協からは歓迎の意が松本会長より述べられ、双方の委員紹介後、意見交換を行いました。

阿久比町から①阿久比町にはない、要支援者登録制度システム。②具体的な活動。③民児協と社協・自治会との活動協力。④主任児童委員の活動など、数々の質問がなされ、約1時間あまりの意見交換でしたが、双方にとって有意義な時間を持つことができました。

阿久比町と本市を比較すると、人口や世帯数は1.3ですが、65歳以上の高齢化率、要介護認定率は、ほぼ同じであり、民児協の活動する土壌が似ていると感じました。

また、今年、ほたるサミットを開催し、幻の花「花かつみ」が咲くという優雅な阿久比町ですが、本市も「ほたる」場があり、美しい鳥「カワセミ」などが飛翔する清流があり、豊かな自然環境にも共通点を感じる交流会でした。

綾瀬市民児協通信員 川瀬 精康

民児協の活動や地域交流など、「県民児協だより」で紹介しませんか？

各市町村民児協の通信員または県民児協事務局までご連絡ください！

視察研修の様子

通信員からの情報提供がもとで、記事を掲載することができました。

様式などは一切問いません。次の問い合わせ先にてお寄せください。なお、紙面の関係で、取り上げるのが難しい場合もありますこと、ご理解お願いします。

問い合わせ先

神奈川県民生委員児童委員協議会
〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡4-2
☎045-311-1427
ファクシミリ:045-314-3472
E-mail: kmjk@knsyk.jp

お詫び・訂正

『県民児協だより127号』に挟み込み配布しました『県民児協データファイル』の通し番号に誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

(誤)No.17 ⇨ (正)No.18

編集雑感



広報委員
平塚市民児協事務局
杉山 正

民生委員児童委員の委嘱を受け、新任委員の方にとっては「心配」と「迷い」が多い日々を過ごされているかと思えます。

ぜひ、一人でも多くの方に、民生委員児童委員活動に「やりがい」や「楽しさ」を感じていただけるように、事務局も皆様と一緒に頑張っ行きたいと思います。



広報委員
神奈川県地域福祉課
高野 寛子

民生委員・児童委員をお引き受けくださりありがとうございます。高齢者への対応、生活困窮者の自立支援等、皆様には多大な期待が寄せられています。また、皆様の「見守りや相談」は、とても貴重な活動です。私達も研修等で皆様の活動をサポートしますので、3年間どうぞよろしくお願い致します。